

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
11	ヤマザキ動物看護大学	高齢動物看護学	富田 幸子 動物看護学部 教授 他2名	2	前期	木	15	10:50～12:20	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

動物医療の進展やヒトと動物の暮らしの変化等に伴い、犬猫の寿命が飛躍的に長く延びてきているが、一方で高齢動物において様々な問題が生じている。このため犬猫の身体的な加齢変化を理解でき、生理学的変化か病的変化なのかを説明できる。その後の健康管理や疾病治療および看護の方法を説明できる。また、疾病予防につながる高齢動物の生活の質(quality of life, QOL)の維持および向上の必要性を理解し、高齢動物の飼い主教育をすることができる。高齢動物の積極的な予防看護ができる。

【授業の概要】

高齢動物とは何かを定義し、高齢動物の理解とその周囲をとりまく状況について解説し、高齢に伴って出現する動物の身体に加齢変化について各臓器別の変化と正確な知識、それに対応する必要な看護について講義する。QOLの維持管理に必要な知識を講義し、最後に死と向き合うグリーフケアについて講義する。

【授業内容】

1. 高齢動物をめぐる状況
2. 高齢動物と循環器疾患の看護
3. 高齢動物と呼吸器疾患の看護
4. 高齢動物と歯科疾患
5. 高齢動物と消化器・内分泌疾患の看護
6. 高齢動物と運動器・神経疾患の看護
7. 高齢動物と認知障害の看護
8. 高齢動物と腫瘍疾患の看護
9. 高齢動物と皮膚疾患の看護(ゲストスピーカー)
10. 高齢動物と眼科疾患の看護(ゲストスピーカー)
11. 高齢動物と術後管理・リハビリテーション
12. 高齢動物と感染症対策
13. 高齢動物と泌尿器疾患の看護
14. 高齢動物の食餌管理と代替医療
15. まとめ(予防)と最終課題(グリーフケア)

【成績評価方法】

授業への参加態度(レポート提出を含む)および小テスト40%、定期試験60%から総合的に評価する。

【教科書】

講義内容に合った資料を配布する。

【参考書、教材等】

- 1) 犬と猫におけるリハビリテーション、支持療法および緩和療法(監修 長谷川篤彦、学窓社)。
- 2) 高齢動物の医学(監訳 長谷川篤彦、インターズー)。
- 3) 犬と猫の老齢医学(監訳 丸尾幸嗣、インターズー)。
- 4) 疾患別 動物看護学ハンドブック(緑書房)。
- 5) 対応策がわかるハイシニアケア、インターズー

※ この授業は、4/14(木)が初回です。